十五日夕刊

磐城時報

▲編輯兼發行人　福島縣石城郡平町紺屋町十四
▲印刷人　岡田弘成
▲印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　福島縣石城郡平町紺屋町十五　加納活版所
▲發行所　磐城時報社
▲一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
▲廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

植田の民政黨で 商港中止反對の決議

濱口、安達兩相に發送

民政黨植田部會の濱口內閣出現祝賀會は十三日午後一時から植田町菊多座に開いたが、出席者は野崎縣會議員外六百余名で序に小名濱商港問題について善後策を協議したが先づ野崎縣議は小名濱商港修築工事の中止か否かの問題は未だ確然と決つたのではないから悲觀するには及ばない、たゞ中止問題で不利益となる点は平小鐵道開通後に於て工事をすれば工費が幾分少なくて足るといふ点であるが、利益と見る可き点は既に起工式をあげ着工してゐるといふ事で、この点は他の港灣とは違ふから閣員決定前に地元が猛烈な運動を行へば、中止乃至は繰延べ等の事がなくてすむと信ずる。

と意見を述べ結局左の如き決議をなし決議文を直ちに電報で濱口首相、安達內相宛に發送した

決議文

小名濱商港修築工事は中止若くは繰延べ等の事絶對になからん事を期す。

石城郡町村長會で 代表を擧げて陳情

小名濱商港問題について 石城郡必死の猛運動

石城郡町村長會は十三日午後一時から平稅務署に開いたが、小名濱商港修築工事が中止さるゝやうな立場に至つたので之に關する態度を一同に諮つた處、結局委員をあげて上京し比佐代議士、大島民政黨支部長、民政黨本部並に內務、大藏兩相に中止反對の陳情を行ふ事となり委員として左の九氏をあげ十四日上京した。

▲代表委員　伏見彥衛（平）大平睦四郎（勿來）中村立躬（泉）渡邊金治（大浦）志賀兼吉（豐間）駒木根忠三（玉川）荒川忠治（鹿島）鈴木榮（小名濱）河野嘉藏（江名）

小名濱代表 二十名上京

小名濱町では十三日午後七時から同町小學校に町民大會を開き小名濱築港中止に對する復活運動に關して協議の結果若し政府の聲明通り同港工事が中止されれば全く同町が死地に陷ることは必然なのでこの際如何なる犧牲を拂つても復活工事を繼續せしめるやう各關係筋に運動することに一決しこれが代表百名は十四日自動車に分乘平驛から乘車出福せんとしたが平警察署では萬一を慮り代表者を廿名に限定他の八十名はいろ〳〵說得歸町せしめたが、代表廿名は同日午前十一時四十五分平驛發列車で出福した。

內鄉村御厩國道で 女學生二名轢かる

湯本町鈴木自動車部運轉手宮城縣名取郡生れ高橋勘藏（二四）が平、湯本間乘合自動車を運轉し十五日午前七時頃平町に來る途中內鄉村大字御厩地內でハンドルを誤つたため通行中の平陽女學校生徒鈴木トヨ（十四）二年生下山田マサ（十六）の兩名を轢き倒したので大騷ぎとなり平署から若林警部補出張取調べ中である、被害者は平町藤沼醫院で手當中であるが重傷である。

自動車 通行人に追究

平町新川町池田倉治（四三）は十二日午前十一時頃平町四丁目道路を荷車をひいて通行中後方から同町芹澤自動車商會乘合自動車を運轉手鈴木巳三郎（二六）が運轉し來り追突し倉治は全治一週間の傷を負つた。

鍵をかけて 大婦喧嘩

平町田町居住利根川金三郎（三五）は去る十三日午前三時頃夫婦喧嘩を始めたが、同人は喧嘩と同時に自宅裏表入口を中から錠を下ろし電燈を消し內緣の妻長唄師匠田村こう（四〇）を踏むは十三日午後九時高坂地內鐵道蹴る毆るの大亂暴に、こうはたまらず人殺しと悲鳴を擧げ救ひを求めたので附近の者は驚きかけ付けたが戶を開けることが出來ず平署にかくと届け出たので同署鈴木部長が駈つけ漸く取押へたが一時は騷ぎであつた。原因は痴情開係らしいと。

田町の 体育大會

藝妓も參加

平町田町青年團では二十七日午後一時から平第一小學校庭で區民体育大會を開く筈であるが當日は百余名の紅裙連も競技に參加する筈で人氣を呼んでゐる。

子供を連れた 青年轢かる

內鄉村大字宮磐城炭礦後山夫中川貢（三三）小山俊（七ッ）の兩名は十三日午後九時高坂地內鐵道踏切を通行中列車に轢殺された

磐城共濟會總會 會員權利問題で一波亂

多數で原案通り決定 終つて三博士祝賀會

磐城共濟會總會は十四日午後二時から平町聚樂館に開き議長に木村清治氏を推し會長賀澤忠治氏から過去三年間の各種報告あり、同會經營の磐城共濟病院決算承認に移る前に會員佐藤作平氏が

現在に於て磐城共濟會の會員の權利は如何なる狀態にあるか、權利が合法的に認められてゐるか。

と質問したのに對し木村議長は權利が合法的であるといふ事は磐城共濟會の組織が財團法人若くは社團法人になつてゐるかといふ事を意味するのであらうが、本會には金の問題で遺憾乍ら組織が出來ないでゐる。

と答辯したのに對し更に磐城共濟會は創立後病院經營の初會に於て、適當の方法を講じて社團法人若くは財團法人組織とすべきものであつたに拘はらず、その手續を履まず、會員の權利が確保されてゐないといふ事について理事者は責任を感せぬか。

木村議長

●將來は社團法人若くは財團法人組織とする考である。

と答辯したが、之に關し會員の議論沸騰した、佐藤氏更に賀澤會長に對し

會長は會員の權利保持のため完全な努力を拂つたと信じてゐるか。

と質問したが、之に對して木村議長は不得要領の答辯をなし、次いで決算に移り、馬目、三森佐藤各氏と當事者間の質問應答あり結局帳簿を閲覽せしむる條件で決算を承認し午後五時半散會した。終つて午後六時半から谷口樓に於て磐城共濟病院醫員にして今回博士號を授與された中西、松枝、桂三氏の祝賀會を開いたが、出席者三十余名で盛會であつた。

同會の大正十五年四月から昭和四年三月迄の損益計算左の如し

▲自大正十五年四月至昭和二年三月

總收入金	三三、一四八円〇四
總支出金	四一、九四三・六七
差引損金	八、七九五・六三

驚いた!!! こうまで安いとは

平・加納活版所の印刷物

▲自昭和二年四月至昭和三年三月

總收入金	二七、八一九円四五
總支出金	三五、三三・〇一
差引損金	七、五〇三・五六
前期繰越損金	八、七八五・六三
合計損金	一六、二九八・一九

▲自昭和三年四月至昭和四年三月

總收入金	六四、九一七・九七
總支出金	六一、八六五・六三
前期繰越損金	一六、二九八・一九
差引損金	一三、二四五・八五

北海道・樺太方面 徒步旅行の途上から

（第三信）　北海道にて　松田正一

其中でもアカシヤなぞは今が花盛りだ、次に家屋だが、平町の樣に、低い古ぼけた置去られた樣なのとは違つて、新開地らしい廣く高く立派なものばかりで而も何處の家にも何處の家にも擴大な庭が作られてゐる中には一町、二町と云ふ庭なぞ珍らしくない、其れが皆物凄い大木にて繁つてゐる其の中へ畑が作られ、花や櫻桃、苺なぞが今を盛りに咲いてゐる、かと思ふと、空地には掃溜られた冬期の降雪が泥に混つて未だに解けずに山をなしてゐる、日本全國から參集した禁酒會員三百余人は北海道廳からの後援で市內外の重なる處は總て參觀する事が出來た、そして內地の人達が考へてゐる樣に、北海道と云へば、熊と角力でもやつてゐる處かの樣に、うよ〳〵してゐるのは動物園で決して熊なぞ居ない事を知つた、もし「熊は來ませんか」なぞと尋ねでもしたら、其人は「熊ですつて？」と答へるに違ひない。東北方面から見ると遙かに進んでゐる事を知ると同時に、北海道と云ふて馬鹿にしてゐる東北人こそ、もつともつと發奮せねばならない事を痛感させられた、そして感したのは北海道の人達は、互に、內氣に、敗けずにと云ふ感念をもつて進んで行きつゝある樣だ、過去の何等理想のない唯、喰らうべくの移住者であり開拓であつたのは昔の事である樣だ。（つゞく）

泥酔して下駄で毆る

平町立町飲食店安藤利助（六〇）は十四日午後十一時半頃飲酒して歸る途中同町清水屋旅館事根本シン方に立ち寄り居合した豊間村大字薄磯柾井佐平（四八）と口論し下駄で柾井の頭部を毆り全治二週間を要する傷を負はせたので平署で取調中である。

貨物自動車水田に轉落

平町搔揶小路菊地自動車部運轉手河野重儀（二八）は十三日午後九時十分頃貨物自動車を操縦し澤渡村大字下市萱地内を進行中誤つて水田に轉落したが乗組員は無事であつた。

原町通信

野馬追祭で馬上で大亂闘

野馬祭に於ける騎馬武者の旗取り競走は毎回花々敷き亂闘をなし昔日の武士氣質を表して野馬追祭の興味を喚起しつゝありしが本年も相馬郡上眞野村遠藤宗雄（四二）侍大將と同郡石神村大字木戸伏見清（三〇）騎馬武者との賞典爭奪より大立廻りを馬上にて演じ遠藤は頭上に約四寸の裂傷を負ひ馬上より昏倒せるの活劇があつた。

▲野馬追祭乗降客　相馬郡野馬追祭に付き原町驛に於ける三日間の乗降客は▲七月十一日乗者千四百四十八人降者三千四百三十八人▲十二日乗者五千七百三十九人、降者四千百九十八人▲十三日乗者千五百九十五人、降者八百三十九人なりしが昨年度より各一日につき五百余人の不足なりと。

祭禮と各濱の賑ひ

毎年野馬追祭前後に渉り相馬近在の各濱は中通り筋の見物人により一時賑ふを例とするが本年は十二日野馬追祭日より俄に炎暑著だしく白砂青松の濤風を想ひ起したる關係にや澁佐濱、雫濱、烏濱、原釜請戸濱等の各漁場、旅館等は非常に活氣を呈しつゝあり。

▲廣瀬齒科院の庭園　原町東一番丁の齒科醫廣瀬謙氏は盆栽及び庭園には一流の趣味を持ち可成り斯道に到達せるが尤も勝れたるは庭園のアケビにして鬱蒼として繁れるのみならず目下花後の結實したるもの夥しく萬木紅葉の秋には定めし見事なるべく同好の士に賞讃されつゝあり。

小使一名至急入用
年齢問はず
身體健全身元確實なる者
委細は御來談下さい
平町三丁目（電話四一四番）
七十七銀行平支店

氷水新種物入荷廣告
一、氷メロン　金十五錢
一、氷コーヒー　金十五錢
一、氷セイキ　金十五錢
右たいしい原料デス。御勸メ致シマス
特製あつきアイス　金五錢
平町二丁目
電話三〇五
藤市氷店

耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
病室完備…自炊の便あり
平町南町
電話一七〇番
大和田醫院

内臓外科
骨關節外科
整形外科
産婦人科
外科
藤本順
産婦人科
外科
院長
木村寅次郎
木村病院
平町新川町（電話一六四）

作物專用の殺虫劑
デリス石鹼
三十錢、一圓廿錢、二圓（類似品に御注意）
デリス石鹼は蔬菜、果樹、花卉、庭園樹、盆栽等總ての作物の害虫を見事に全滅する優良な殺虫劑であります。
特徴　効力確實一定、生育促進
價格低廉、使用法簡易
▲使用後惡臭汚点を殘しません。
特約店　平町四丁目（電話一四四）
小野屋藥店

新妻眼科醫院
平町字紺屋町
◆入院應需　◆看護婦一名至急募集

二葉印刷所
平町字仲町
電話七四三番

營業種目　石炭、コークス、玉炭
磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル
◎磐城炭礦ノ最上石炭
正味十貫目入　壹俵　金六十五錢
◎日本デ一番評判ノ良イ東京瓦斯コークス
コークス　壹俵　金壹圓參拾錢
◎木炭ノ三倍御德用ナ㊫ノ玉炭
玉炭　大箱壹箱　金貳圓
▲配達ハ一俵ヨリイタシマス
平驛前
電話二三七　㊫　阿部石炭商店

▼上品雅味▲
割烹　末廣
電話四二一番
▼懇切勉强▲

理化學研究所製
吸入用酸素酸素吸入器
正確ナ体温器寒暖計
特約店　磐城平町　關内藥局　電四〇番

貨物自動車
御依頼に應じ運轉仕候
平町田町三
野崎自動車部
電話六五九番